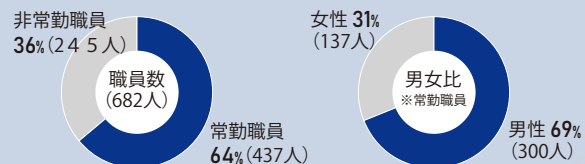
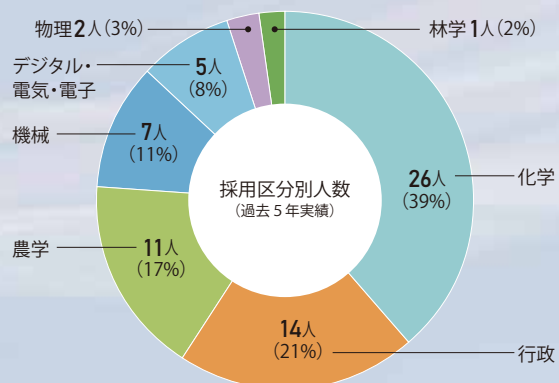


データで見るNITE

■職員数 (令和7年1月時点)



■採用実績 (5年目以内職員 採用区分別)



■主な育児関連制度

- ・産前休暇
- ・産後休暇
- ・育児休業
- ・育児短時間勤務
- ・育児時間
- ・早出遅出出勤
- ・育児を行う職員のフレックスタイム制勤務
- ・在宅勤務
- ・出生サポート休暇 など

■育児休業取得率 (令和5年度実績)



NITEで活躍したいあなたへ Q & A

- Q** NITEの業務と関係の無い専攻、採用実績の少ない試験区分でも採用されますか？
- A** 多様な人材を求めており、業務直結以外の専攻も含め、一般職の全ての試験区分から採用しています。
- Q** 勤務地について教えてください。
- A** 3分の2以上の職員は東京(本所)で、ほとんどの職員が東京、千葉、大阪で勤務しています。
- Q** 勤務時間、残業の状況を教えてください。
- A** 1日の勤務時間は7時間45分で、フレックスタイムやテレワーク等も利用できます。令和5年度の1か月当たりの平均残業時間は約10時間です。
- Q** 休暇、福利厚生について教えてください。
- A** 国の制度に準じたさまざまな休暇があります。年次休暇は年に20日、平均使用日数は15日です。国家公務員共済組合に加入しており、福利厚生も充実しています。
- Q** 研修制度はありますか？
- A** 新規採用職員研修、階層別、各種専門、キャリア開発等の研修の他、自発的な研修への支援があります。



■本所(東京都渋谷区)



■大阪事業所(大阪市)



■バイオテクノロジーセンター(木更津市)

独立行政法人 製品評価技術基盤機構

〒151-0066 東京都渋谷区西原 2-49-10

TEL.03(3481)1921 FAX.03(3481)1920

<https://www.nite.go.jp>

ホームページ→



採用担当：人事企画課

TEL.03(3481)0952

Mail. saiyou@nite.go.jp

<https://www.nite.go.jp/nite/saiyou/index.html>

採用ページ→



nite

National Institute of Technology and Evaluation
独立行政法人 製品評価技術基盤機構

安全とあなたの未来を支えます
Safety and your Future with NITE



NITEとは

“安全とあなたの未来を支えます”をスローガンに掲げ、
ニーズ、シーズの変化に柔軟、かつ迅速に対応し、
確かな技術と情報で、より安全で豊かな社会を目指す——
それが、NITEです。

NITEとはどんな組織？

正式名は「独立行政法人製品評価技術基盤機構」です。

「NITE」は機構の英語名の

National Institute of Technology and Evaluationの
それぞれの単語の頭文字を取ったもので、「ナイト」と読みます。

NITEは経済産業省所管の独立行政法人で、
役職員は国家公務員です。

どんな仕事をしているの？

NITEでは確かな技術と信頼できる情報をもとに、
5つの技術分野の専門性で、またその総力を結集して、
くらしの安全と未来への挑戦を支える仕事をしています。

職員になるには

国家公務員採用一般職試験の合格者から採用しています。

行政区分及び全ての技術区分から

多様な人材を求めています。



製品安全分野

安全な生活は、製品事故の
未然防止と再発防止から

製品使用時には事故が起こることもあります。
製品安全分野では、消費生活用製品に係る
事故の情報収集、調査・分析を行い、製品
事故の再発防止や未然防止に向けた情報を
発信することで、安全で豊かなくらしに貢献
しています。

バイオテクノロジー分野

バイオエコノミー社会の実現を目指す

身近なところで活躍している微生物は、人々の生活にとつ
てなくてはならない存在です。バイオテクノロジー分野
は、産業界における微生物
とその関連情報の利活用を
支え、社会問題の解決や
経済発展、持続可能な社会
の実現に貢献しています。



国際評価技術分野

先端技術の安全性評価と
電力インフラへの安全支援

国際評価技術分野では、大型蓄電池シ
ステムの試験評価業務や国際標準化支
援等を行っています。また電気保安に係
る事故情報の分析・情報発信等、技術・
情報・政策面から持続的な電気保安水
準の維持・向上に貢献しています。



化学物質管理分野

化学物質による人の健康と
環境への悪影響を最小限に

化学物質は生活を豊かにする一方で、使い
方を間違えると悪影響を与えることがあり
ます。化学物質管理分野では、適正な化学
物質管理の推進と情報発信で、みなさん
の安全な生活を支え、経済社会の発展に
貢献しています。



適合性認定分野

試験・校正事業者等を審査する
認定機関として信頼性を支える

貿易や取引手続きの統一化・簡素化が推進されるとともに、
企業等のコンプライアンスも求められています。適合性
認定分野は、国際基準に基づいた認定を通じて、試験・
測定データの信頼性や製品の品質を支えています。



マネジメント分野

総務・人事・会計・デジタル等で
各技術分野の業務を支える

マネジメント分野では、職員が働きやすい
職場となるよう、快適なオフィス環境の提供、
ワークライフバランスの推進、スムーズで
適切な調達の支援、デジタル化の推進、
ITインフラの構築・運用管理などにより、
各技術分野の業務を支えています。

